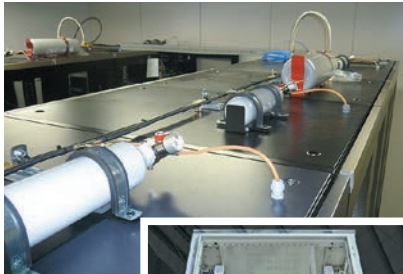


＼ BCP担当者必見 /

備えあれば憂いなし!! 投資育成イチオシの秀逸防災商品



ファイア
イレイス



イレイス
チューブ



アクア・スプレッダー



避難21点セット



レスキュージャッキ
+ ショベルセット

マルチショベル
(ツルハシ パール
ショベル)

9月1日は防災の日。95年前の1923年、関東大震災が発生した日であり、台風襲来がピークを迎える時期でもある。その防災意識を高めるのが狙いだ。

火災の原因として恐いのは、人の目が届かない場所での出火である。例えばリチウムイオンバッテリーラック、サーバーラックや電気配線、機械装置など工場には欠かせない機器類からの出火を初期段階で素早く消火し、設置も簡単、電源も不要、しかも低価格なのが、防災専門企業であるニチボウの開発した「ファイアイレイス」「イレイスチューブ」である。

ガス系消火剤のため二次汚損の心配がなく、優れた電気絶縁性があるため、電子機器にダメージを与えない。

この画期的な消火装置の秘密がセンサー代わりに「イレイスチューブ」だ。このチューブは一定の熱を感知すると破裂し、空気圧制御の容器弁を開いて消火剤を放出したり、チューブに消火剤を充填したタイプは直接消火剤を放出して即座に消火する。

石油設備、地下駐車場、倉庫など限られた区画内で短時間に消火できるのが泡消火薬剤。第一化成産業は石油備蓄タンクや空港などの大規模火災に使用される同剤メーカーの草分けとして国内トップシェアを誇る。

中でも「アクア・スプレッダー」は、天然由来の界面活性剤を主原料に有害物質を含まず、極めて安全性が高く、

一般的火災に力を発揮する。

同社は家庭向けも含めて用途に合わせた種々の消火器も扱い、専門スタッフがユーザー対応を行う。また、防災用品も販売しており、避難時に便利な「避難21点セット」、災害用トイレテントなどもそろそろ。

まだ記憶に新しい北海道胆振東部地震や西日本の豪雨土砂災害では、倒壊した建物に生き埋めとなる被害が多かった。生存者には一日も早い救助が求められる。だが、大規模災害では救助隊だけですべてをカバーできない。重要なのは、地元の住民や社員同士の助け合いである。

自動車部品メーカーの理研化機工業は、パンタグラフジャッキをはじめ自動車・バイク用工具を製造していた技術から、「レスキュージャッキ」を開発した。軽量(3.6キロ)・コンパクトで最大1500キロを持ち上げることができる。

阪神・淡路大震災では、実際に近所の人たちがジャッキを駆使して倒壊家屋から救出活動を行った。このジャッキがあれば、あなたも危機を救うことができる。

同社ではこのほか、ツルハシ、パール、ショベルの3機能をあわせ持つ「マルチショベル」も開発。土砂の撤去やドアのこじ開け、ブロックなどの破壊に役立つ。さらに平時は防災用品収納ボックス、災害時には簡易担架としても使える「レスキューストレッチャーボックス」も販売している。

株式会社ニチボウ

●主な事業内容: 防災設備の開発・設計・施工およびメンテナンスなど ●本社所在地: 東京都品川区東五反田1-9-5 ●社長: 杉山裕之 ●資本金: 6800万円 ●設立: 1978年 ●従業員: 191名 ●URL: <http://www.nitibou.co.jp/>

第一化成産業株式会社

●主な事業内容: 各種消火薬剤、土木・建築用薬剤などの製造販売 ●本社所在地: 東京都千代田区神田神保町3-7-1 ●社長: 加藤省三 ●資本金: 9000万円 ●設立: 1957年 ●従業員: 62名 ●URL: <http://www.d-kasei.co.jp/>

理研化機工業株式会社

●主な事業内容: 自動車部品および防災用品などの開発・製造・販売 ●本社所在地: 埼玉県坂戸市千代田5-6-12 ●社長: 平木健介 ●資本金: 1億8200万円 ●設立: 1955年 ●従業員: 200名 ●URL: <http://www.rkj.jp/>

投資先企業のお役立ち製品を紹介します。